

区分	事業名	期 日 及 び 場 所	事業内容	入場者
舞 台 芸 術 鑑 賞	交響楽の夕べ	11月19日(日) 1日1回公演 県文化センター 大ホール	クラシック音楽の鑑賞を通じ、より深く身近な音楽として親しんでもらうため小松一彦指揮、熊本マリのピアノによる新日本フィルハーモニー交響楽団の演奏を実施した。	1,339名
	能・狂言公演	10月19日(木) 1日2回公演 県文化センター 大ホール	様式美の芸術と称される能楽の幽玄の世界を鑑賞してもらうため、観世築夫、野村万作等の能楽座による能・狂言を実施した。(助地域創造の助成を事業を活用して行った。)	2,689名
普 及 ・ 奨 励	「うつくしまふくしま」名画上映会	9月24日(日)～ 10月15日(日) 県内6会場6日間 (日程)24・郡山、6・いわき、7・原町、12・会津若松、14・15・福島	戦後の福島県内を舞台として撮影された劇場用映画の上映を通して福島県の世相と風俗を振り返り、時代を再認識する機会を提供した。県内方部縁の作品を上映。	1,216名
	歴史資料展「近世ふくしまの大名展」～福島藩板倉氏資料を中心として～	10月11日(水)～ 11月26日(日) (14日間) 県文化センター 歴史資料館展示	藩領域と幕府領が複雑に入り組み、頻繁に大名の配置転換が行われた福島県の支配変遷を関係資料で展示公開した。 〔展示内容〕文書・武具等 ◎黄羅紗陣羽織ほか	2,721名
展 示 ・ 公 開	出版 記念誌刊行		福島県文化センターの30年の活動の記録と、福島県の文化の変遷をまとめた。	A4版 336頁 1,000部

## 2 通年自主文化事業

区分	事業名	期 日 及 び 場 所	事業内容	入場者
舞 台 芸 術 鑑 賞	少年劇場	6月9日(金)～ 6月30日(金) 18日間22回公演 県文化センター 他17会場	少年少女の情操涵養をねらいとして、教育課程に組み込み、学校単位の参加による生の舞台芸術鑑賞教室を、劇団集団遊女社の児童劇「ウブボミ」により県内巡回公演を実施した。	14,576名
	親子劇場	7月2日(日) 1日2回公演 県文化センター 大ホール	幼児童の親と子に、演劇を観る楽しさと共通の話題を提供することにより、家庭教育の充実を図る。ことをねらいとして、劇団飛行船のマスクプレイ・ミュージカル「プレーメンの音楽隊」の公演を実施した。	2,566名

区分	事業名	期 日 及 び 場 所	事業内容	入場者
講 座	文化講座	文学 毎月第3日曜日 法学 毎月第4土曜日 東洋史毎月第3土曜日	情報化社会といわれる今日、高度な学習欲求に応える学習講座事業として近代文学、法学、東洋史の三講座を継続的に実施した。	(文学) 190名 (法学) 313名 (東洋史) 276名
	文学講演会	11月28日(土) いわき市市民会館・大会議室 10月29日(日) 小高町浮舟文化会館・1・2研修室	文学愛好者に広く学習の場を提供するために日本古典文学会所属の東京大学藤原克己助教授を講師に古典文学講演会を実施した。	(いわき) 100名 (小高) 70名
学 習	地域史研究講習会	11月10日(金)～ 11月11日(土) 2日間 県文化センター 2階会議室	地域史研究の基礎となる資料の取り扱い方、資料の整備保存公開について今回は県内大名と諸藩関係資料に関する講義と、研究協議を実施した。	171名
	歴史資料研究講習会	6月23日(金)～ 6月24日(土) 2日間 館岩村公民館	地域に根ざした一般向けの郷土史の講習と古文書の研究方法等、専門的講習を併せ持った研究講習会を実施した。	84名
展 示 公 開	発掘調査成果展・体験学習「つくってみよう！ためしてみよう！古代の暮らし」	8月11日(金)～ 8月17日(木) 7日間 県文化センター 歴史資料館展示室	平成12年度資料を中心に展示。小・中学生向けに10の常設体験コーナーを設け、土・日曜日には火おこし・石器作りの特別体験学習を実施した。	689名
	映画教室	夏休み期間中 毎土曜日4日間 4回上映 県文化センター 小ホール	夏休み期間中の幼児童の健全で有意義な余暇活動を助長するため、夏休み映画教室として実施した。	1,010名
普 及 ・ 奨 励	古文書緊急調査事業	(調査実施町村) 只見町 田島町 下郷町	市町村史編さん事業や地方史研究成果として、多くの歴史資料が発見されているが、これら県内に残る資料の調査、所在確認、寄託収集を行った。	
	地域文化振興協力事業		県内外の文化情報、資料の収集と蓄積を通じ、文化事業に対する情報提供と市町村等が行う文化活動の助言指導を行った。	